

Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ

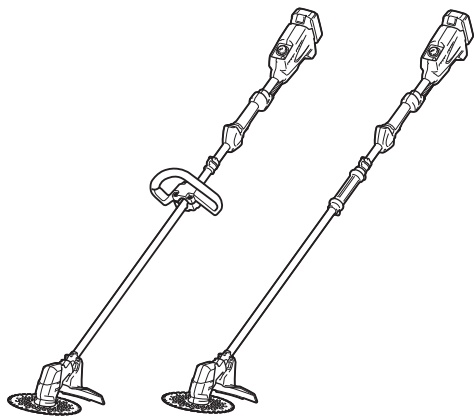
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

充電式草刈機

モデル

MUR142LD
MUR142WD
MUR182LD
MUR182WD



このたびは充電式草刈機をお買い上げ賜
わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本機の性能を十分ご理解
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい
ただいて、いつまでも安全
に能率よくお使いくださる
ようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次




・ 主要機能	3
・ 充電工具共通の安全上のご注意	4
・ 充電式草刈機安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	16
・ 別販売品のご紹介	18
・ ご使用前の準備	19
・ ご使用前の準備	19
・ 刃物（刈刃）と飛散防護カバーの組み合わせ	19
・ 飛散防護カバーの取り付け方	19
・ ループハンドルの取り付け方	20
・ チップソー（刈刃）の取り付け方	21
・ 肩掛けバンドの取り付け方	23
・ 肩掛けバンドのはずし方	23
・ 使い方	24
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	24
・ バッテリー保護機能	24
・ バッテリーについて	24
・ バッテリーの充電方法	25
・ 充電完了メロディーの切り替え方法	26
・ 充電表示ライトについて	27
・ 冷却システムについて	28
・ オートメンテナンス機能について	29
・ バッテリーを長持ちさせるには	29
・ バッテリーの回収について	29
・ 充電器の点検・修理・保管について	29
・ スイッチの操作	30
・ 正逆転切り替えレバーの操作	31
・ 変速ダイヤルの操作	32
・ お知らせランプ	32
・ 本機の持ち方	33
・ 保守・点検について	34
・ 本機のお手入れ	34
・ 保管場所について	34
・ ご修理の際は	34

主要機能

主要機能 \ モデル	MUR142LD	MUR182LD	MUR142WD	MUR182WD
電動機	DC ブラシレスモータ			
バッテリー	リチウムイオンバッテリー			
	バッテリー BL1430 (容量 3.0 Ah)	バッテリー BL1830 (容量 3.0 Ah)	バッテリー BL1430 (容量 3.0 Ah)	バッテリー BL1830 (容量 3.0 Ah)
電圧	直流 14.4 V	直流 18 V	直流 14.4 V	直流 18 V
回転数	3,500 ~ 6,000 min ⁻¹ (回転 / 分)			
刃物径	230 mm			
本機寸法 (長さ×幅×高さ) (チップソー (刈刃)、飛散防護カバー含む)	1,868 mm × 226 mm × 229 mm		1,868 mm × 226 mm × 225 mm	
質量 (バッテリー含む) (チップソー (刈刃)、飛散防護カバー、肩掛バンド除く)	3.1 kg	3.2 kg	2.9 kg	3.0 kg
急速充電器	DC18RC			
入力電圧	単相交流 100 V			
入力周波数	50-60 Hz			
入力容量	410 VA			
出力電圧	直流 7.2-18 V			
出力電流	直流 9 A			

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
 - ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）電動工具を示します。
- a) 作業環境
1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
 2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
 3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- b) 電気に関する安全事項
1. 充電器の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、電源プラグをアダプタプラグなどで接続しないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
 2. 充電工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 充電工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
 3. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、絡まって感電する恐れがあります。
 4. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

c) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して傷害の恐れがあります。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

d) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った充電工具を使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
 - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ その他危険が予想される作業

⚠ 警告

4. 使用しない充電工具は、きちんと保管してください。
 - ・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。
 - ・ 充電工具とその操作に不慣れな方には充電工具を使用させないでください。不慣れな方のご使用は危険です。
 5. 充電工具の保守点検をしてください。
 - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
 7. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
 8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- e) 充電工具の使用と手入れ
1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
 2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
 3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具本機の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
 4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。

⚠ 警告

5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。

- ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
- ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

f) 整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・ 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。
- ・ ビリビリと電気を感じる。

スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

⚠ 警告

4. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
5. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
6. ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
8. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ほこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
9. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
10. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
11. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
12. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
13. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
14. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
15. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
16. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式草刈機安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式草刈機として、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB216-2

全般

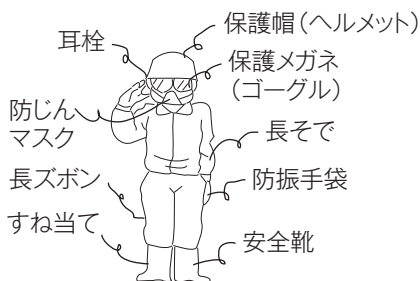
⚠ 警告

1. 本機を雨の中で使ったり、水のかかる場所での使用や、雨ざらしにしないでください。また、ぬれた場所に置かないでください。感電や焼損・発火による火災の恐れや故障やけがの原因になります。
2. 本機は雑草の草刈りを目的とした本機です。この目的以外には、使用しないでください。
 - ・ 目的以外で使用されますと、けがや事故の原因になります。また、本機の寿命を縮めます。
3. 枝打ち等の作業はしないでください。
 - ・ けがや事故の原因になりますので腰より高い位置での作業はしないでください。



4. 袖や裾の締まりのよい服装をしてください。また、手ぬぐいやタオルを首から下げて作業しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれけがの原因になります。
5. 保護帽（ヘルメット）、耳栓、保護メガネ（ゴーグル）、防振手袋、滑り止めのついた安全靴、すね当てなどの保護具を着用してください。
 - ・ 保護帽（ヘルメット）
転倒や頭上の木の枝、落下物などから頭を保護するため、保護帽を着用してください。

- ・ 耳栓
騒音から聴覚を保護するため、耳栓などの保護具を着用してください。
- ・ 保護メガネ（ゴーグル）
刈刃部から飛んでくる物から目を保護するため、保護メガネを着用してください。また、粉じんの多い作業の時は防じんマスクを併用してください。
- ・ 防振手袋
手の保護のため、防振手袋を着用してください。
- ・ 安全靴
刈刃部から飛んでくる物から足を保護するため、底に滑り止めのついた安全靴（先しん入り）を着用してください。
- ・ すね当て
刈刃部から飛んでくる物から足を保護するため、すね当てを着用してください。



6. 本機を他人に貸す場合は、取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むよう指導してください。また、子供には本機を貸さないでください。
 - ・ 本機の取り扱いの知識が不十分な場合、事故の原因になります。
7. 誤った部品を取り付けたり改造をしないでください。
 - ・ 思わぬ事故の原因になります。
 - ・ 刈刃は当社指定のものをご使用ください。

作業を始める前に

⚠ 警告

1. 次のときは本機を使用しないでください。事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
 - 夜間の使用や悪天候などで視界の悪いとき。
 - 妊婦による作業。

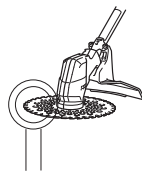


2. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ガソリン、ガス、塗料、接着剤など引火性のある物の近くでは、使用しないでください。
 - バッテリからの異臭や液漏れがないか確認してください。
3. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

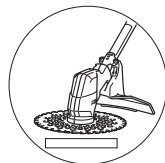
4. 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。また、ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
 - 転倒してけがの原因になります。



5. 身体を冷やさないような服装で作業してください。
6. 刈刃にひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、刈刃点検時には手袋を着用してください。
 - 異常があると刈刃が破損し、けがの原因になります。



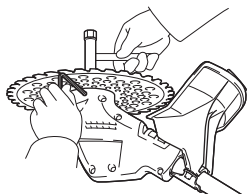
7. 刈刃は刃物（刈刃）軸最高回転数よりも高い許容回転数のものを使用してください。
 - 刈刃の許容回転数が低いと刈刃が破損し、事故の原因になります。



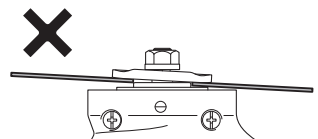
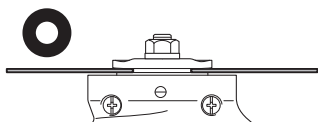
8. 作業を始める前に刃物カバーを取ってから使用してください。

⚠ 注意

1. 使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがいないか確認してください。次のときは本機を使用しないでください。事故の原因になります。
 - ・ 不完全な本機を使用するとけがの原因になります。
2. 刃物（刈刃）類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。また刈刃の取り付けの際は、必ず手袋をしてください。
 - ・ 確実でないとはずれたりし、けがの原因になります。



3. 刈刃を取り付ける場合は、刃受金具の凸部と刈刃の取り付け穴を確実ににはめてください。
 - ・ 刈刃が正しく取り付けいていないと異常振動し、けがの原因になります。



4. 調節キーやレンチなどは必ず取りはずしてください。
 - ・ 付けたままでは使用時に飛び出して、けがの原因になる恐れがあります。
5. 本機を始動させる前に、半径15m以内に他の人や動物がいないこと、刈刃が地面や樹木その他の障害物に触れていないことを確認してください。
 - ・ 刈刃が障害物に触れていると事故の原因になります。
6. 刈払いする場所にある小石、針金、空カン、空ピンなどの障害物は取り除いてから使用してください。
 - ・ 使用中に刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、本機の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故の原因になります。



警告

1. 刃物（刈刃）から手や足が離れていることを確認してからスイッチを入れてください。
 - ・ けがの原因になります。
2. 草刈機は両手で確実に保持し、体重が両足にかかるように適当に足を開いて使用してください。その際、ハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。また、付属の肩掛けバンドを必ず着用してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。



3. 飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。
 - ・ 飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けずに使用すると小石などが飛散した場合、けがの原因になります。



4. 回転している刈刃や回転物に手足や顔、衣服などを不用意に近づけないでください。またスイッチを戻したあとや電源を切ったあとも刈刃はしばらく回っていますので注意してください。
 - ・ けがの原因になります。



5. 使用中に刈刃が石などの障害物に当たったときは、すぐに本機を停止させ異常がないか調べてください。

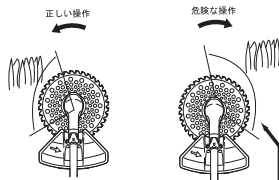
- ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
6. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。



7. 刈刃で打つ、たたく等の方法で刈払作業をしないでください。
 - ・ 跳ね返りや刈刃が破損し事故の原因になります。



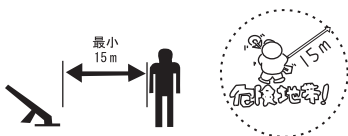
8. 使用中、キックバックが起こる可能性があります。キックバック防止のため、刈刃を右から左に操作して刈払い作業をおこなってください。
 - ・ キックバックが起こると、本機が思わぬ方向に動き、けがや事故の原因になります。



キックバック：
この範囲で刈刃が硬いものに当たると、反動で運転者側（自分の方向）に本機が跳ね返されます。

⚠ 注意

1. 使用中は半径 15 m 以内に他の人や動物などを近づけないでください。また 2 人以上で作業を行うときは、お互いに 15m 以上の間隔を取り、監督者をおいでください。使用中、15m 以内に他の人や動物などが近づいた場合は、直ちに本機を停止し作業を中止して注意をうながしてください。
 - 不用意に他の人や動物などを近づけると事故の原因になります。



2. 草刈機を使用している人に近づくとときは、使用者から 15m 以上離れた位置で合図し、本機の停止と刈刃の回転の停止を確認してから近づいてください。
 - 不用意に近づくと使用者が気が付かず事故の原因になります。



3. 刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たる恐れのある場所では使用しないでください。
 - 使用中に刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たると、跳ね返りまたは刈刃が破損し、事故の原因になります。

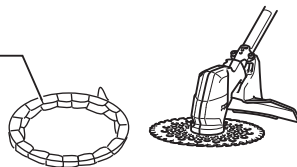
4. 作業に合った刈刃の回転数で使用してください。
 - 回転数が低すぎますと雑草がからみつくことがあります。
 - 回転数が高すぎますと運転時間が短くなるだけでなく、本機の寿命を縮める原因にもなります。
5. 本機は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は体に負担をかけることがありますので、定期的に休息をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休憩してください。
 - 力仕事に不慣れな、例えばご高齢の方は、特に体への負担にご注意ください。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、刈刃や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
7. 通気孔を雑草や刈った草のくずなどでふさがないように、常に注意してください。
 - モータの故障の原因になります。

⚠ 注意

1. 運搬時や格納時、休憩時は刃物（刈刃）カバーを必ず取り付けてください。

- ・ けがの原因になります。

刃物（刈刃）
カバー



2. 車で移動する場合や本機を輸送する場合には、バッテリーを取りはずしてください。

- ・ 事故や故障の原因になります。

3. 使用しないときは、刃物（刈刃）カバーを取り付けてバッテリーを取りはずし、お子様の手の届かない場所又は鍵のかかる場所に保管してください。

- ・ けがの原因になります。

4. 長期間使用しない場合はバッテリーの劣化防止の為、バッテリーを満充電状態にしてから保管してください。

5. 万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場の近くに備え付けてください。救急箱から持ち出した場合には、直ちに交換品を入れておいてください。



6. 注意ラベルがはがれてしまった場合は、新しい注意ラベルを貼ってください。注意ラベルは、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所に手配をお申し付けください。

7. いつも安全に能率よくご使用いただくために定期点検をおすすめします。点検は、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申し付けください。

- ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因になります。

注

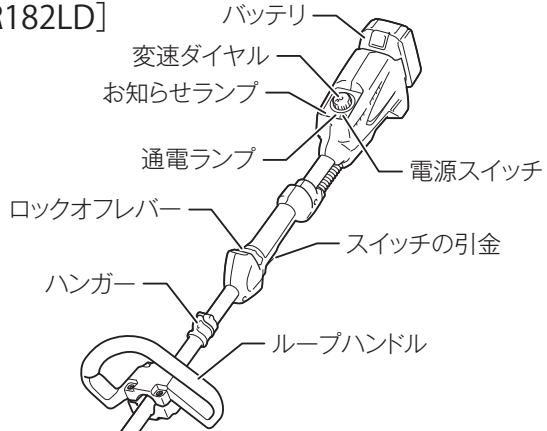
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

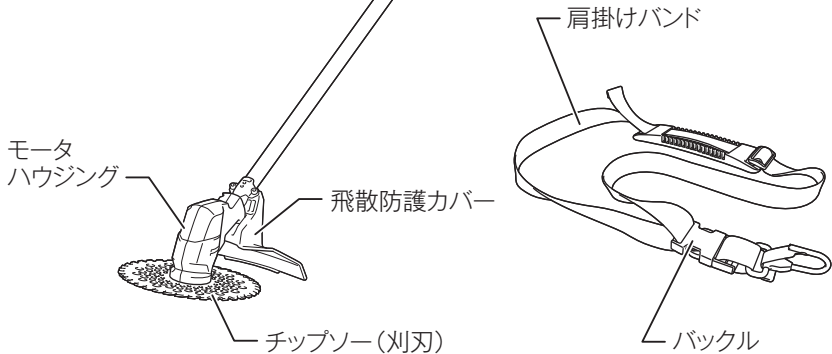
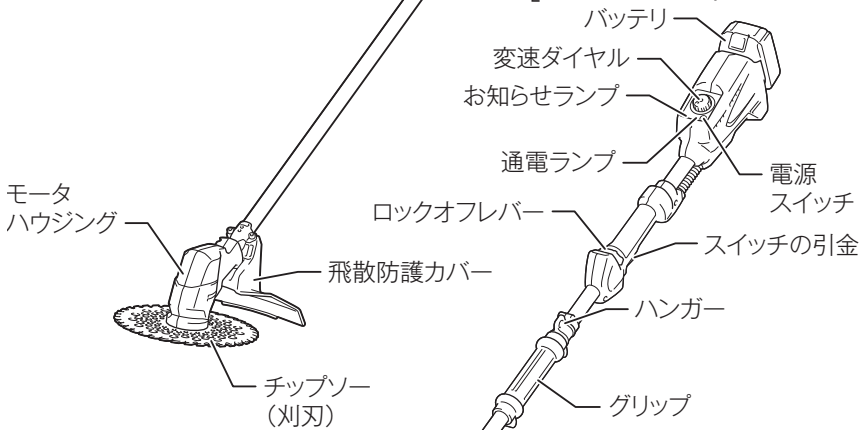
コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0 mm ²	30 m

各部の名称および標準付属品

[MUR142LD/MUR182LD]



[MUR142WD/MUR182WD]



各部の名称および標準付属品

製品の組み合わせおよび標準付属品

標準付属品 \ モデル	MUR142LDZ MUR142WDZ	MUR182LDZ MUR182WDZ	MUR142LDRF MUR142WDRF	MUR182LDRF MUR182WDRF
バッテリー	×	×	○ バッテリー BL1430 (3.0 Ah)	○ バッテリー BL1830 (3.0 Ah)
充電器 (充電時間)	×	×	○ DC18RC (約 22 分)	○ DC18RC (約 22 分)
肩掛けバンド	○	○	○	○
チップソー (刈刃)	○	○	○	○
ボックスドライバ	○	○	○	○
六角棒レンチ	○	○	○	○
アクセサリバッグ	○	○	○	○
刃物 (刈刃) カバー	○	○	○	○
保護メガネ	○	○	○	○
バッテリーカバー	×	×	○	○

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。
- ・ プロテクタセット品（ナイロンコードカッタ用）
部品番号：A-56873
- ・ 充電器DC18RC
部品番号：JPADC18RC
- ・ バッテリBL1830(容量3.0 Ah)
部品番号：A-47896
- ・ バッテリBL1430(容量3.0 Ah)
部品番号：A-42634
- ・ チップソー
部品番号：A-56926
- ・ タップ式ナイロンカッタ4
部品番号：A-51085

注

- ・ ナイロンコードカッタを使用する際は本機に別販売品のプロテクタを取り付けてご使用ください。

ご使用前の準備

ご使用前の準備

⚠ 注意

本機の組み立てや付属品の取り付け取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ 本機が作動して、けがの恐れがあります。

付属品をしっかりと取り付けてから作業してください。

刃物（刈刃）と飛散防護カバーの組み合わせ

⚠ 警告

刃物（刈刃）と飛散防護カバーは正しい組み合わせで使用してください。

- ・ けがの恐れがあります。

飛散防護カバーをはずした状態で使用しないでください。

- ・ 事故やけがの恐れがあります。

外径が 230mm の刃物（刈刃）を使用してください。

外径 230mm を越える刃物（刈刃）を使用しないでください。

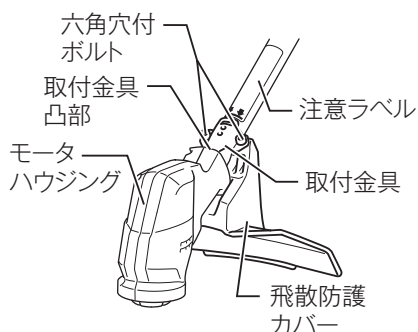
- ・ けがの原因になります。

飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。

- ・ 飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けずに使用すると小石などが飛散した場合、けがの原因になります。

飛散防護カバーの取り付け方

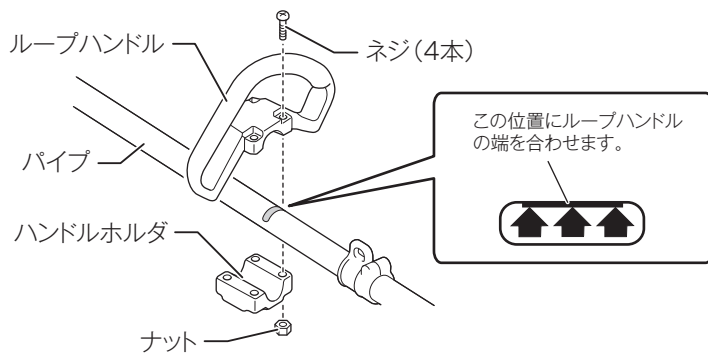
- ・ 取付金具の凸部を図のようにモーターハウジングに奥まで差し込んで位置を注意ラベルに合わせてください。
- ・ 取付金具に飛散防護カバーを2本の六角穴付ボルトで取り付け、六角棒レンチでしっかりと締め付けてください。（2本とも均等に締め付けてください。）



ご使用前の準備

ループハンドルの取り付け方 (MUR142LD/MUR182LD)

- ・ 図のようにループハンドルとハンドルホルダを4本のネジとナットでパイプに固定します。



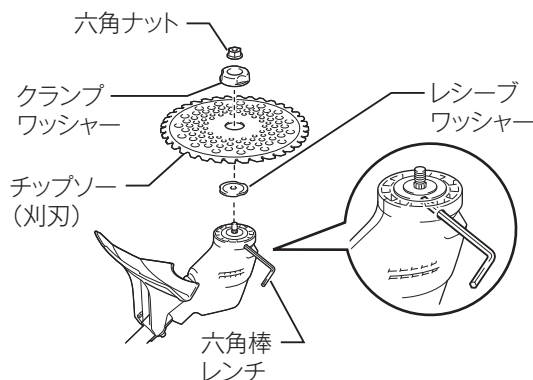
ご使用前の準備

チップソー（刈刃）の取り付け方

⚠ 注意

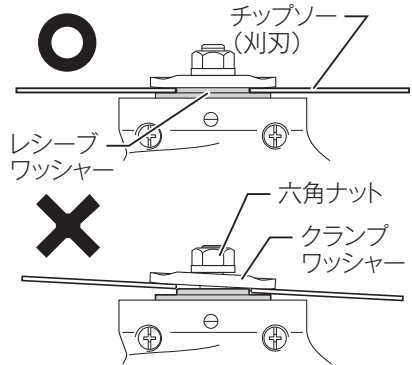
- ・ チップソー（刈刃）の取り付け・取りはずしの際はスイッチを切りバッテリーを抜いてください。
- ・ マキタ純正のチップソー（刈刃）を使用してください。
- ・ チップソー（刈刃）はきれいにしてください。チップソー（刈刃）に石などが当たった場合は使用をやめ、スイッチを切り、チップソー（刈刃）を点検してください。
- ・ 3時間ごとにきれいに掃除または新しいチップソー（刈刃）に交換してください。
- ・ チップソー（刈刃）をつかむときには必ず手袋をしてください。
- ・ 本機を保管または移動させる際は、チップソー（刈刃）に刃物カバーをしてください。
- ・ チップソー（刈刃）を締めている六角ナットは消耗品です。クランプワッシャーが磨耗した場合には、六角ナットも交換してください。

- ・ チップソー（刈刃）を交換しやすいように本機を裏返します。
- ・ モータハウジングの穴に六角棒レンチを挿入します。
- ・ ロックされるまでレシーブワッシャーを回します。
- ・ ボックスドライバで六角ナット、クランプワッシャーをはずし、六角棒レンチをはずします。

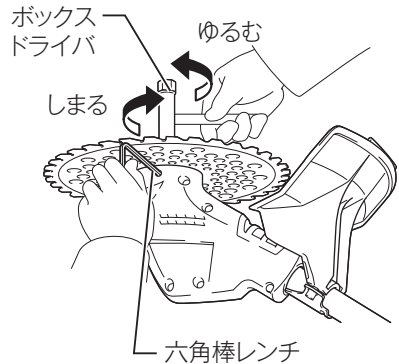


ご使用前の準備

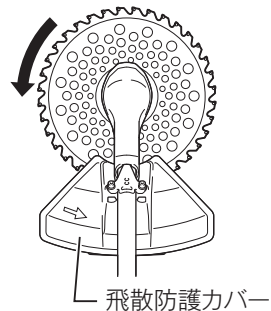
- チップソー（刈刃）の穴にレシーブワッシャーの凸部がぴったり合うようにして、チップソー（刈刃）を取り付けます。
- 次にクランプワッシャーを取り付けます。



- 六角ナットをしっかり締め付けて、チップソー（刈刃）が確実に固定されていることを確認してください。締付トルクは13~23N・mです。



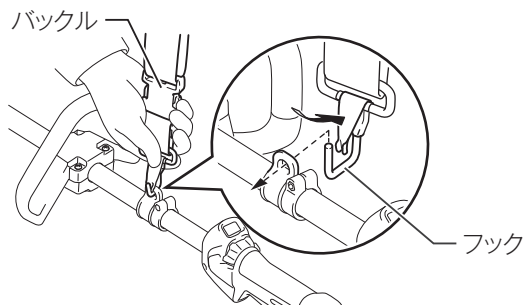
- 飛散防護カバーの矢印と同じ方向に回転することを確認してください。



ご使用前の準備

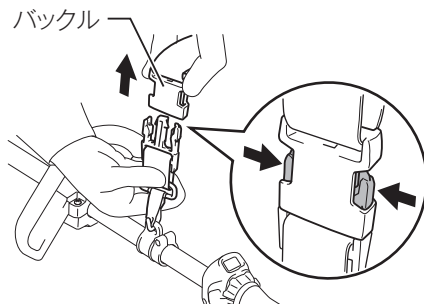
肩掛けバンドの取り付け方

- ・ 肩掛けバンドを左肩へたすき掛けし、フックを本機に引っ掛けます。
- ・ フックおよびバックルを引っ張って抜けないことを確認してください。



肩掛けバンドのはずし方

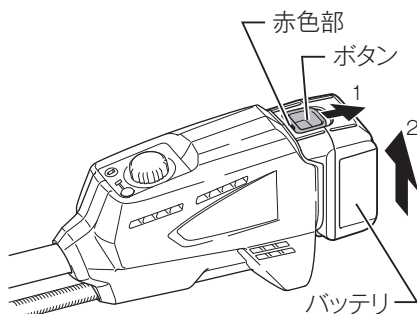
- ・ バックルのレバーを強く押すとバックルがはずれます。



使い方

バッテリーの取り付け・取りはずし方

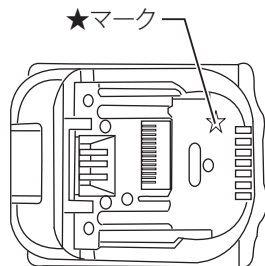
- ・ バッテリーを本機から取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを引きながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



バッテリー保護機能

(★マーク付きバッテリーを使用する場合)
バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能が付いています。本機を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

- ・ 本機が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。
このときはいったんスイッチをはなし、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの温度が高温になるとモーターが自動停止します。スイッチを操作してもモーターは停止したままです。
このときはバッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ますか、または充電してください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。スイッチを操作してもモーターは停止したままです。
このときは本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。



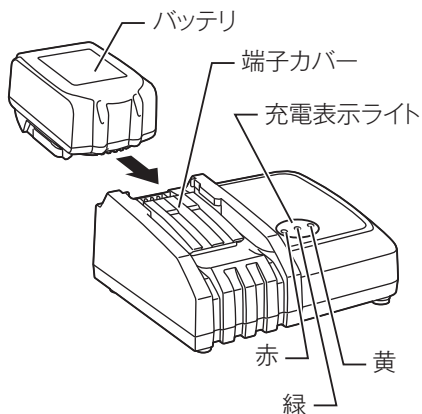
バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。(スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

使い方

バッテリーの充電方法

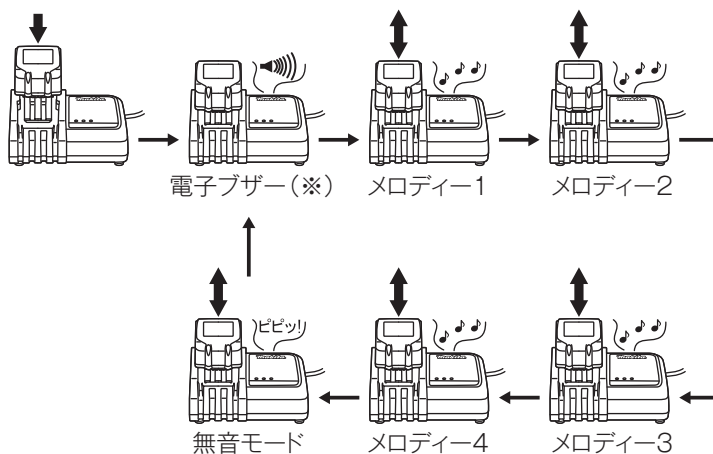
1. 急速充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを急速充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れ、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。そのままバッテリーを挿入しておけば、バッテリーを冷却します。充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
4. 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますのでそのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却期間は、約 1 時間です。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから急速充電器の電源プラグを抜いてください。



使い方

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定（※）されている充電完了メロディーの確認音が短時間流れます。
2. このとき、約5秒以内にバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて約5秒以内にバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が流れましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。「ピピッ!」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。


















※ 出荷時は電子ブザーに設定されています。

使い方




充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。







(通常充電時のライト表示および表示内容)

ライト表示	点滅 点灯	表示内容
  		充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
  		冷却中「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
  		充電中「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0~80%を示します。
  		充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80~100%を示します。
  		充電完了「緑 1 個」点灯 電子ブザー またはメロディー

(オートメンテナンス時のライト表示および表示内容)

  		オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
---	--	--

(異常時のライト表示および表示内容)

  		充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミつまりで充電できません。
  		冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

注

- ・ DC18RC はマキタバッテリー専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- ・ 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- ・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- ・ バッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- ・ オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態に応じて変動します。
- ・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
 - × 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1 時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない）。

冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなる場合があります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

使い方

オートメンテナンス機能について

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記1～4の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなる場合があります。
 1. 高温充電の繰り返し
 2. 低温充電の繰り返し
 3. 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
 4. 過放電の繰り返し
(過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です)

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは、充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

使い方

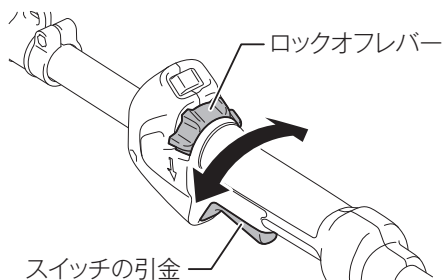
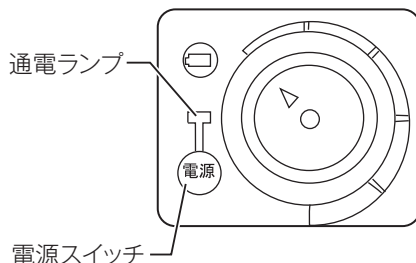
スイッチの操作

⚠ 警告

本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

- ・ ハウジング部の電源スイッチを押すと通電ランプが点灯します。
- ・ スイッチはロックオフレバーを左右どちらかに回した状態で、スイッチの引金を引くと入り、離すと切れます。
- ・ スイッチの引金を離すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。
- ・ 電源スイッチを押して、1分間何も作業しないと、自動的に電源が切れます。



使い方

正逆転切り替えレバーの操作

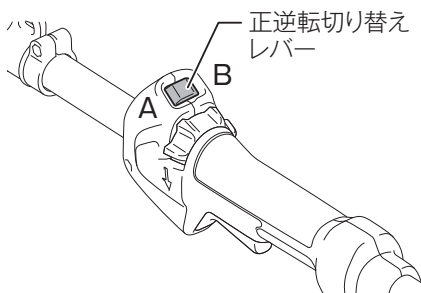
⚠ 警告

正逆転切り替えレバーを操作しても刃物（刈刃）に絡まった雑草などが取り除けない場合は、電源スイッチを切り、バッテリーをはずしてから絡まった雑草を取り除いてください。

⚠ 注意

作業前には必ず刃物（刈刃）の回転方向を確認してください。
正逆転切り替えレバーの操作は本機が完全に停止した後に行ってください。

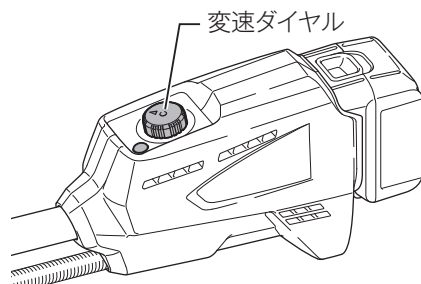
- ・ 本機はチップソー（刈刃）に絡まった雑草などを取り除くために正逆転切り替え機能が付いています。
- ・ 正逆転切り替えレバーをA側に押しと左回転（正転）します。B側に押しと右回転（逆転）し、数秒後に自動的に停止します。



使い方

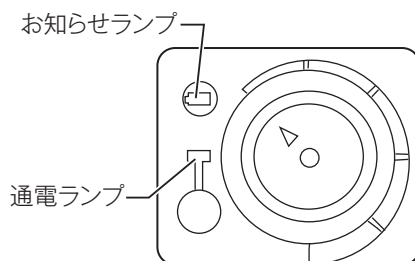
変速ダイヤルの操作

- ハウジング部には回転数を3,500～6,000回転に変速する変速ダイヤルが付いています。変速ダイヤルを時計回りに回すと高速、反時計回りに回すと低速になります。



お知らせランプ

本機にはバッテリーの容量が少なくなったり、外部から過負荷が加わった場合に自動停止する保護機能が付いています。2種類のランプで本機の状態をお知らせします。(表参照)



通電ランプ	お知らせランプ	状態	対応
□	■		
点灯	点滅	バッテリー残容量少	満充電のバッテリーに交換してください。
点灯	点灯	バッテリー残容量がなくなり自動停止	満充電のバッテリーに交換してください。
点滅	消灯	過負荷による温度上昇	使用を停止し、本機を冷ましてください。

使い方

本機の持ち方

⚠ 警告

本機は体の右側に、両手でハンドルを保持してください。

本機の操作は慎重に行ってください。

近くにいる他の人に本機が接触しないように注意してください。

- ・ けがや事故の原因になります。

バッテリーは確実に本機に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

- ・ 肩掛けバンドを身につけ、両手でハンドルを保持します。



保守・点検について

警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本機に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

保管場所について

- ・ 保管する際は、本機からバッテリーを取りはずして保管してください。
次の場所には保管しないでください。
 - × お子様の手が届いたり、持ち出せる所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 軒先など雨がかったり、湿気のある所

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882784-0
NNP

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)